大分県地域医療再生計画（平成24年度補正予算）の概要

	現状・課題	目標	施策	効果
災害医療	南海トラフ巨大地震等想定最大津波15m、最速18分で到達、一般電話不通率15.7%、医療対応不足数3,100人 災害初期及び沈静化した後の心のケア	**大規模災害に備える医療提供体制の整備・充実** 災害に対応できる2次救急医療機関の設備の強化 災害時に対応できる衛星電話等整備 災害時の精神保健医療に対応できるチーム設置	①自家発電装置、備蓄倉庫整備（長門記念病院） ②衛星携帯電話等の整備（各保健所、県・郡・市医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院など） ③DPATチームの設置（県）	南部圏域の災害医療体制の強化 災害初期の情報収集・伝達体制確立 災害時の心のケアの体制整備
在宅医療	県自宅死亡率（8.8%）、全国平均（12.6%）より低い 在宅医療連携拠点（モデル）事業～別府市医師会、臼杵市医師会、日田市医師会で実施 医療と介護の顔の見える関係づくり構築 在宅療養支援診療所・病院が地域により偏在 在宅医療に携わる看護職の資質向上 医療機関の連携、医療と介護の多職種連携、ネットワークづくりによる24時間対応への体制整備 認知症になっても地域で住み続けられる環境づくり、早期診断等の支援行う拠点づくり	**在宅医療支援体制の充実** 全医療圏域においての在宅医療連携拠点構築、医療機関同士、医療・介護機関間の顔の見える関係づくり・連携体制構築 在宅医療推進のためのアセスメントツール開発 診療所看護職の資質向上 在宅医療連携体制推進のためのシステム整備 認知症に関して治療とケアの連携強化 認知症に携わる人のネットワークづくり 認知症早期の正確な診断のための拠点づくり	①在宅医療連携拠点の構築（各市・郡医師会、市、町、保健所など） ②在宅医療推進のためのアセスメントツール開発構築（県立看護科学大学） ③在宅医療推進のための診療所看護職研修（看護協会） ④在宅医療推進のための（ICT）システム構築（臼杵市医師会、竹田市医師会、長門記念病院、天心堂） ⑤認知症患者のための地域連携ツール作成（県） ⑥認知症患者のためのネットワーク推進（県） ⑦認知症患者のための在宅医療提供体制整備（大分大学）	県下全域での在宅医療関係機関の連携体制構築 在宅医療対応の看護師の資質向上 中部・豊肥・南部圏域においてICTを利用した医療機関等連携推進 認知症患者を県内各地域で支える体制整備 認知症の早期診断・検査体制確立
医師確保	医師の地域偏在顕著76%が中部・東部医療圏に集中・偏在 地域中核病院等における医師確保が課題 医師の県内定着を図り、地域偏在を解決するために、医学生、初期・後期研修医の各々に応じた教育環境等の整備が必要	**医療従事者の確保** 地域医療に従事する医師のキャリア形成支援、指導体制充実	①地域医療研究研修センター設置及び地域医療支援センター整備（県） ②後期臨床研修医研修資金貸与事業及び地域中核病院等医師研修支援事業（県）	地域医療を担う医師の充実 地域における医療提供体制の充実 医師の県内定着の推進